

## 能美市壮年団とのタウンミーティング

日 時 令和5年2月18日（土）16時30分～17時30分

会 場 寺井地区公民館 大ホール

参加人数 60人

### 1) 開会

#### 2) 壮年団長 ご挨拶

・本日はお忙しい中大勢の方に参加いただきありがとうございます。また、公務ご多忙の中、多くのご来賓の方々にご臨席を賜りお礼を申し上げます。今年は、男女共同参画の観点から、婦人会の代表の方々にも参加をいただきました。重ねてお礼を申し上げます。

・先行き不透明なコロナ禍でもあり、感染対策を施しての3年ぶりの対面開催を実現できることに大変うれしく思っている。本日の懇談会において井出市長をはじめ、辰口校下副団長より、辰口校下壮年団の情報共有と題してプレゼンがあります。

・能美市壮年団団員数は、令和3年度は1,739人。今現在は1,400人ほどと、年々減少傾向にある。本日会場に来られなかった団員のためにも、何か一つでもいいので学んでいただき、また各校下、各町に戻られましたら団員にお伝えいただき、さらなる強固な壮年団を構築していきたいと考えている。

### 3) 市長 市政報告

○はじめに

・常日頃能美市の色々なイベントにご参加いただき、多くの活動をしていただいていることに御礼を申し上げたい。

・今日はインクルーシブのみという題で、皆様方に市政の状況を報告させていただく。インクルーシブというのは、誰も仲間外れにしないという意味で、能美市が目指す地域共生社会です。地域共生社会というのは、健康な方だけではなく、高齢者、子ども、障がいをお持ちの方、外国人、能美市に住む全ての皆様方が安全安心快適に暮らせるというのが地域共生社会です。外国語で言うとインクルーシブといいます。

・クアハウスN9の隣に、インクルーシブ・プレイグラウンドのみという公園ができました。この公園の滑り台、ブランコは、障がいをお持ちの方でも使えるようになっていますし、周囲の遊歩道は足に優しい材料を使ったそんな公園です。

・2022年を振り返りますと、3年ぶりということ 키워ードに、様々なイベントが復活をしました。九谷茶碗まつり、根上七夕まつり、辰口まつりが開催をされ、根上・辰口の2つの祭りは過去最高の人出だと言われていた。また、義援金や寄附、連携協定もたくさん結ぶ、そんな年でもあった。恐らく、大雨の被害があったということを受けて、こういったことが多かったのではないかという気がしている。

・2023年の最初に、今年の漢字を1文字で例えると、と聞かれ「備」という字を選んだ。北陸新幹線県内全線開業に向けて、いろんな準備をしていくことから、この「備」という字を選んだ。

#### ○8月4日の大雨について

・4時18分に大雨警報が発表され、5時8分に土砂災害警戒情報が発表された。6時半に部局長以上を集めた災害警戒体制会議を招集をし、6時40分に鍋谷町と寺島町に避難指示を発令し、避難所を設営した。当初は、午前中いっぱい雨が小康状態になると聞いていたが、実際には夕方まで降り続いた。夕方には、雨水がどんどん下水道に入り家庭排水が流れにくくなり、皆様方に下水道の利用を少し制限してほしいというお願いもした。20時45分に土砂災害警戒情報が解除され、翌日の10時15分に大雨警報が解除されました。

・2018年の7月にも大雨が降って避難指示を発令しているが、そのときは大雨警報が発表されてから約5時間後に土砂災害警戒情報が発表された。ところが、昨年8月4日は、大雨警報が発表されてから50分後に土砂災害警戒情報を発表がされた。まさに過去経験したことの無い雨が短時間に集中的に降ったということがこの状況からお分かりいただけると思う。数字で言うと1時間当たり86ミリという雨でした。

・市内でも多くの場所で冠水被害があり史跡名勝も大きな被害を受けた。遣水観音に行く道は、昨年の12月23日に土砂の撤去が完了し現在は使えるようになったが、蟹淵は被害が甚大で、どうやって復旧させていくか検討している状況です。冠水した地域は鍋谷川周辺だけでなく西川周辺のエリアもかなり冠水をした。

・床上・床下浸水で約120件、そして土砂が流入をした農地が12ヘクタール、冠水した農地が20ヘクタール、イノシシの柵が1キロにわたって被害に遭いました。9月の市議会に5億9,300万の予算を上程させていただき、12月議会、そして今3月議会でも相当額の予算を今、上程をさせていただいて復興・復旧、そして国、県の支援も仰ぎながら、同じような雨が降っても二度と同じような水害に見舞われないよう、しっかりと対策を取ってこうしている・

・避難所を設営したが、やはり避難所まで行けないという高齢者の方や障がいをお持ちの方がいらっしゃって、実際には、各町会、町内会の皆様方、役員の皆さん方とか、民生委員・児童委員、それから防災士の皆様方が自主的に自分たちの公民館を避難所として使っていたり、土嚢をつくって守っていただいたりした。

・我々も色々な対応を求められ、なかなか手が回らなかったことから、まさに市民力・地域力をもう一回見直して、多くの皆さん方と手を携えて、命を守る財産を守るということをしていかなければならないと改めて感じた。

・根上地区の避難所は根上総合文化会館ですが、その周辺が冠水をして行けなかったという声も聞いていて、避難所の在り方ももう一回見直さなければならぬと、早急に色々なことを取り組んでいます。

#### ○市の施策について

・市の施策の7本柱が全部、移住定住の促進に繋がるということで取り組んでいます。何故移住定住の促進に繋げるかということですが、私は自治体の勢いを示す数値というのは人口だと思っている。人口が増えている自治体は勢いがあると思っている。人口が増えるというのは2つ要素がある。自然増と社会増です。生まれてくる赤ちゃんのほうが多くなる方よりも多い、そうすると自然増です。引っ越して行く人よりも引っ越してくる人が多いと社会増。この自然増と社会増をどうやるかということで、移住定住の促進ということ掲げてやっている。

・移住定住の促進といっても、市役所だけでやれるわけではなく、市民の皆様方の協力も必要です。市民力、地域力をさらに高める。それからふるさと愛の醸成も一生懸命やっている。ふるさと愛の醸成というのは、能美市民の皆様方が自分が住んでいる町のことを好きになる、自分と一緒に暮らしている人たちを誇りに思うということをふるさと愛の醸成とっています。

・今年の漢字は、「導」という字にしました。実は今、デジタル技術をどんどんいろんなところに導入している。デジタルという漢字を探したんですけれどもなくて、この「導」という字を書いて、横にデジタルとかなを打って、「導」という字にした。

#### ○市の課題について

・社会増をどうやって実現するか。それから災害や事件、事故をどうやって少なくするか。また、能美市は県内19市町ありますが、人口当たりの外国人が住んでいらっしゃる比率が県内ナンバーワンです。そういった外国人の人たちの対応をどうしていくか。

・企業誘致が大変好調です。その人材をどう確保するか。誘致した企業に、既存の企業から人が移ってしまうと企業誘致の意味がなくなりますので、どうやってU I J ターンを促進していくか。

・能美市はSDG s 未来都市に選定をされています。それに伴いカーボンニュートラル、CO2をどうやって削減をしていこうとやり始めました。能美市には11の小中学校があり、築50年以上が全体の35%を占めている。これをどう耐震化、あるいは建て替えていくかも大きな課題です。

#### ○デジタル技術の導入について

・これらの課題をデジタルの力を使い解決していこうと、デジタル田園都市を目指して様々な活動をやっています。

・独り暮らしの世帯が増えていっているんですが、例えば、独り暮らしの人が具合が悪くなった。隣の人に救急車を呼んでもらったとする。救急隊が病院に運ぶ際にこの人が今までどんな病気にかかっていたのか、どんな薬を飲んでいるのか、それから緊急連絡先は誰かということ把握をして病院に搬送しないといけないけれども、本人は具合が悪いから救急隊に伝えられない。そういった課題に対応するために、必要な情報を事前にクラウド

に入れておいて、必要な情報を必要なときに取り出せるようにしておこうと、医療介護DXと銘打って様々な取組を始めている。

- ・公民館を活用していこうとも考えていて、令和5年度の事業で取り組んでいく。例えば公民館にオンラインで診療できる設備をつけられないか、子どもたちが集える場所にならないか等です。将来的にはドローンで注文したものが届くような場所として活用できないかと考え始めている。

- ・危機管理DXの一環として防災行政無線の多重化をしている。防災行政無線の放送内容をスマートフォンに文字で流せるようにする。4月1日から開始予定ですが、そこには緊急情報だけではなく、様々な情報を皆様方にお知らせできるような、そんなサイトを今つくっています。屋外のスピーカーも最新の物にし、流れた情報を固定電話で聞けるようにもして多重化をすすめている。

- ・デジタルばかりに頼っていると解決できないこともたくさんある。その一つが、例えば最近お一人でいろんな問題、課題を抱えていらっしゃる、複合でいろんな課題を持っていらっしゃる人、あるいは家庭が増えてきている。市役所に相談する場合には、相談内容で窓口がそれぞれ分かれていた。そうすると、たらい回しになったり、解決するのに時間がかかることから、チームをつくって複合的な課題を持っていらっしゃる方を対応していこう。スピード感を上げて、デジタルの技術だけでは解決できないところはマンパワーでもしっかりサポートしていこうという体制を取っています。

- ・カーボンニュートラル、2013年のCO2の排出量に対して2030年に半分に減らささいということをおっしゃって、令和5年度からさらに強化をしていきますので、ぜひ皆さん方の協力もいただければと思う。

#### ○令和5年度の取り組みについて

- ・復興・復旧、災害対策を推し進めていく。能美市に進出したいという企業からのお話があり、対応できるよう団地も整備しなければいけない。せっかく能美市の企業に来ていただくので、働く方々に能美市に住んでもらえるよう宅地も整備していく。

- ・新型コロナウイルス感染症の影響で人流が制限をされ、例えば伝統芸能、お祭り、獅子舞や笛等の継承が難しくなっている。イベントやスポーツの大会がなくなっていることから、競技力も落ちてきている。文化芸能やスポーツをもう一回復活させるようなことを令和5年度に考えている。

・3月には加賀海浜産業道路が開通する。今年には能美誕生1200年、加賀立国1200年、秋にはいしかわ百万石文化祭、来年3月には北陸新幹線が県内全線開業をする。こういった千載一遇のチャンスをしっかり活かせるよう取り組んでいきたいと思っている。

○おわりに

・市民ファースト、現地現場主義、これは私の政治信条ですが、こうやって直接ご意見をお伺いするということが大変私の市政運営にとって大事なことです。今日は大規模ですが、もし地元に来てほしいですとか、根上地区だけでの開催などでも結構ですので、ぜひ呼んでいただければ、忌憚のない意見交換もさせていただければと思う。

### 3) 質疑応答

#### 【事前質問1】

・市職員（市長含む）と各町における活動を通じた人事交流（町会・婦人会・老人会を含む）をしてほしい。

#### 【井出市長】

・市の職員でも色々な出前講座等も開催していますので、そういった機会を利用していただけでも構いませんし、私の場合も、能美カフエトークという機会もございますので、連絡をいただければぜひ開催をしたい。

#### 【事前質問2】

・壮年団に対する能美市の窓口の一本化をしてほしい

#### 【井出市長】

・調べてみたところ団員数が多かった時期は、市の職員も所属をしていてその人たちが事務局になっていたケースもあった。団員が少なくなってきて大変な事は理解できる。ただ、市内には多くの団体があり、壮年団だけということになると、バランス的もあるので相談

をさせていただきながら、いろんな形でサポートをしていく体制を考えていきたい。

**【事前質問3】**

- ・ 壮年団が充て職となっている各種委員会等の廃止等抜本的な見直しをお願いしたい。

**【井出市長】**

・ 本当にたくさんいろいろなことをやっていただいている。市の色々なことを運営していく中で、壮年団の皆さんの貴重な意見をそこに反映させたい、という思いからだと思えます。これはもう辞めましょうとか、これは残しましょうという機会を設けさせていただきたい。

**【事前質問4】**

- ・ バスの便数や希望路線のアンケート調査をしてほしい

**【井出市長】**

・ アンケート調査は実施しています。アンケートもとっていますし、職員がバスに乗って、乗客の方から話も聞いている。令和5年度に、一部のルートの見直しをします。それから2年間かけて、例えばオンデマンド交通を取り入れられないかや、ルートやダイヤ、停留所が今のままでいいのかをしっかりと聞きながら、変えようとしています。ご意見があればお聞かせいただければと思う。

**【事前質問5】**

- ・ 壮年団含む各種団体の人数の傾向調査や担い手確保の検討

**【井出市長】**

・ 調査も行っていますし、市の職員もできるだけ壮年団、婦人会に入りましょうということもやっていますので、壮年団の皆さんにもご協力いただければと思う。

**【事前質問5】**

- ・ 壮年団活動の「広報のみ」や「防災行政無線」での周知はできないか。

**【井出市長】**

- ・ 防災行政無線は難しいが、広報のみ等で皆さんの活動を紹介をしたり、イベントの周知は可能です。ぜひその時は仰っていただければと思う。

当日質問

**【参加者】**

- ・ 新型コロナウイルス感染症のワクチン接種で死亡された方等に対して、厚生労働省の4,420万程度の支援金がある。申請窓口は、各それぞれワクチンを受けられた方の自治体だと、厚生労働省のホームページで見た。

能美市のホームページを探したが載っていない。ワクチンの被害に遭われたかに対する救済が一切掲載されていないのが現状であれば、載せていただきたい。

**【井出市長】**

- ・ 各基礎自治体が窓口になるということは、私は把握していなかった。能美市では今、をやっていない状況です。そして、今のご要望に対してこういった形でお答えができるのかは、個人情報等々もあるものですから、石川県や厚生労働省としっかりと相談をして、個別にご質問に対してお答えをしますし、必要な情報でオープンにできることがあれば、公開したいと思う。

5) 辰口校下壮年団副団長 報告

6) 閉会